

～～第7681回～～

北八ヶ岳

～H27. 5. 24～

支部長宅を5:55、2台の車に分乗し、北八ヶ岳ロープウェイの山麓駅を目指す。天気予報に反し、現地に着く頃には薄日が差してきた。山麓駅(標高1,771m)の駐車場に8:10に着く。到着後、準備体操を行い8:40発のゴンドラに乗る。山頂駅(標高2,237m)に標高差466mを7分で登り、そのまま坪庭自然園を右回りする。ここは天然のロックガーデンだ。風は冷たいが心地よい。大きめの木陰や谷間には少し残雪があり、雪解け間もない事から、花はイワカガミがほんの少し咲き、ほかはほとんど咲いていない。北横岳ヒュッテに9:40に着く。小休止して七ツ池を往復する。横道に入ってすぐ残雪があり、慎重に歩き始めたが、まもなく七ツ池に着いたので拍子抜けした。戻るとそのまま北横岳南峰(2,471.6m)を經由し、北横岳北峰(2,480m)に10:20到着。景色も良いので、ここで早めの昼食をとる。蓼科山が眼前で、東側の頂上直下の斜面に白熊の様な雪形が見える。蓼科山の右方向には浅間山、左方向に白馬から五竜岳、鹿島槍、爺が岳、穂高連峰迄良く見る事ができる。昼食後、アップダウンの岩稜を乗り越え大岳に到着。ここから双子池までも岩稜の連続で結構神経を使う。幸い、天候に恵まれ石の表面が乾いていた事と岩が硬く滑り難いので特に問題はなかった。双子池の雌池近くで小休止する。ここは山あいにある比較的大きな池で、看板に飲料可能と書かれ良い環境を保っている。少し離れた雄池を左回りして次の亀甲池を目指す。雄池の至近の登り道から、残雪と大きな倒木で行く手を塞ぎ、場所によっては足が雪に埋まりルート確保に苦労した。地図確認と木に巻いた目印の赤いリボンを探しながら400m位の間を何とか走破。標高差150m位登ったところでようやく残雪と倒木から解放され、本来の登山ルートに戻る事が出来た。大木の茂るうす暗い場所であったので、少し緊張の連続であった。その後は順調に亀甲池、天祥寺原を經由し竜源橋近くの駐車場17:20に到着。荷物を整理し、帰路は車窓から夕日に映る八ヶ岳の山並みを眺めながら支部長宅まで車を走らせ20:00に到着した。この度のコースは、残雪と倒木の箇所を除き景色も良く変化に富み登山を楽しむ事が出来た。あと一カ月もすると高山植物が咲き乱れ更に素晴らしいコースになると思われる。

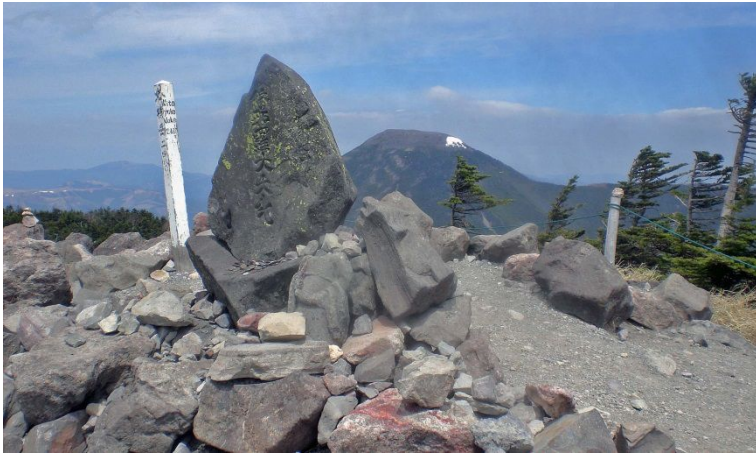
参加者:10名(富士宮支部10)

天候:曇りのち晴れ

地図:蓼科山・蓼科

コースタイム:富士宮555＝山麓駅810-40＝山頂駅847…北横岳ヒュッテ940-48…七ツ池952…北横岳ヒュッテ958…北横岳南峰1020…北横岳北峰1025-1100…大岳1210-15…双子池1420-30…亀甲池1533…天祥寺原1550…竜源橋1720-35＝富士宮2000

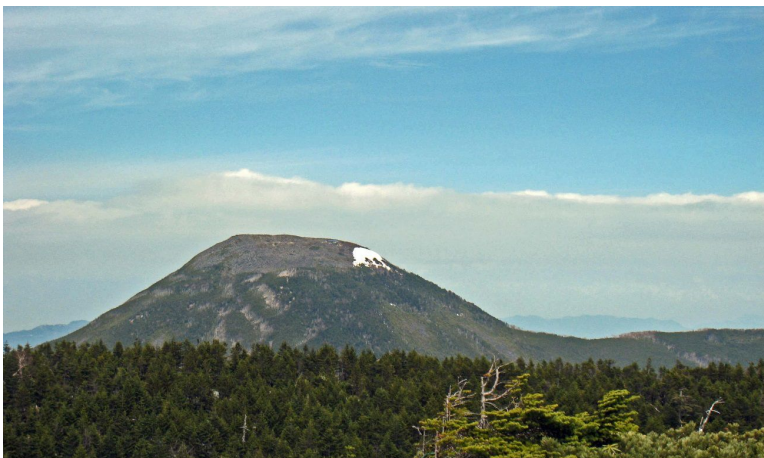
富士宮支部 T.S.



北横岳山頂から蓼科山



八ヶ岳



北横岳山頂から蓼科山